

令和 2 年 度

富士宮市白糸財産区特別会計
歳入歳出決算審査意見書

富士宮市監査委員

富 監 第 40 号

令和3年8月20日

富士宮市白糸財産区管理者

富士宮市長 須 藤 秀 忠 様

富士宮市監査委員 佐 藤 和 也

富士宮市監査委員 村 瀬 旬

令和2年度富士宮市白糸財産区特別会計歳入歳出決算審査意見の提出について

地方自治法第233条第2項の規定に基づき審査に付された、令和2年度富士宮市白糸財産区特別会計歳入歳出決算並びに関係書類を審査した結果について、次のとおり意見を提出します。

1 審査の対象

令和2年度 富士宮市白糸財産区特別会計

2 審査の期間

令和3年7月7日から令和3年8月19日まで

3 審査の方法

白糸財産区特別会計決算書並びに決算付属書類を、関係諸帳簿及び証書類との照合審査を行うとともに、定期監査及び例月出納検査の結果も参照し、併せて関係職員から説明を聴取し、慎重に審査を実施しました。

4 審査の結果

白糸財産区特別会計の決算書並びに付属書類は、関係法令に準拠して作成されており、計数も正確であると認められました。

また、決算の内容、予算の執行状況についても適正であると認められました。

決算の概況及び意見は、次のとおりです。

(注)

文中及び各表中の計数は、原則として表示単位未満を四捨五入により端数処理した関係上、合計と内訳の計及び比率が一致しない場合があります。

5 決算の概況

白系財産区特別会計決算及び前年度比較表

年 度	歳入歳出 予算現額	歳 入		歳 出		歳入歳出 差引残額
		決 算 額	収入率	決 算 額	執行率	
2	円	円	%	円	%	円
A	42,708,000	49,151,322	115.1	37,135,226	87.0	12,016,096
元						
B	34,180,000	37,804,323	110.6	23,921,200	70.0	13,883,123
比較増減						
C	8,528,000	11,346,999	4.5	13,214,026	17.0	△ 1,867,027
前年度増減比	%	%		%		%
C/B	25.0	30.0	—	55.2	—	△ 13.4

(1) 総 括

決算状況は、予算現額42,708,000円に対して、歳入決算額49,151,322円、歳出決算額37,135,226円で、歳入歳出差引残額12,016,096円が翌年度へ繰り越されました。

(2) 歳 入

歳入の収入率は115.1%(前年度110.6%)で、主なものは、立木売払収入23,706,447円、繰越金13,883,123円、総務費県補助金8,209,600円でした。

(3) 歳 出

歳出の執行率は87.0%(前年度70.0%)で、主なものは、財産管理費31,692,047円、区議会費3,577,247円、一般会計繰出金1,500,000円でした。

6 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地及び建物

区分	土地(地積)			建物(延面積)		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
宅地	15,980.66	0.00	15,980.66	145.60	△ 145.60	0.00
山林	8,866,889.98	0.00	8,866,889.98	0.00	0.00	0.00
原野	109,337.00	0.00	109,337.00	0.00	0.00	0.00
公衆用道路	10,435.45	0.00	10,435.45	0.00	0.00	0.00
その他	155,003.02	0.00	155,003.02	0.00	0.00	0.00
合計	9,157,646.11	0.00	9,157,646.11	145.60	△ 145.60	0.00

土地の総面積は、決算年度末現在9,157,646.11㎡で、決算年度中の増減はありませんでした。建物の延面積が減少したのは、建物滅失によるものです。

山林

土地の権利の 区分	面積			立木の推定蓄積量		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
所有	8,363,227.98	0.00	8,363,227.98	190,653	3,398	194,051
分収	503,662.00	0.00	503,662.00	-	-	-
その他の権原に よるもの	0.00	0.00	0.00	0	0	0
合計	8,866,889.98	0.00	8,866,889.98	190,653	3,398	194,051

土地の権利の区分は所有、分収でそれぞれ決算年度中の増減はありませんでした。立木の推定蓄積量の決算年度末現在高は194,051㎥で、決算年度中に3,398㎥増加したのは、自然増によるものです。

出資による権利

区分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
富士森林組合出資金	1,000	0	1,000

出資による権利は、富士森林組合への出資金1,000千円で、決算年度中の増減はありませんでした。

(2) 物 品

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
	台	台	台
連絡用自動車	2	0	2
作業用自動車	3	0	3
合計	5	0	5

物品は、連絡用自動車2台、作業用自動車3台で、決算年度中の増減はありませんでした。

(3) 基 金

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
	千円	千円	千円
有価証券	88,737	0	88,737
現金	預金	0	61,342
	債権	0	0
合計	150,079	0	150,079

基金の決算年度末現在高は150,079千円で、決算年度中の増減はありませんでした。

以上が決算状況です。

経常経費については、引き続き効率的・効果的な執行に努められ、財産区財産についても、今後も適正な管理及び資金運用に取り組まれるとともに、財産の処分・貸付等に当たっては、地方自治法第296条の5に規定する財産区運営の基本原則に配慮されるよう要望します。

